

1月15日

令和2年が始まりました。

始業式では、2学期の終業式では見られなかった子供たちの元気な姿を見ることができて、とてもうれしかったです。また、終業式の時に出した3つの宿題（お手伝い、安全に過ごす、新年の目標を持つ）についても、「できた子は手を挙げてください」との問いかけに、ほとんどの子が自信を持って手を挙げていたこともうれしかったです。

当日は、今年度より本校の学校支援コーディネーターを委嘱された加藤美佳里コーディネーターの紹介と、地域で子供たちを長年にわたり見守り活動を行ってくださっている鈴木 和夫様が、この度第77回ふるさとづくり功労者表彰を受賞されましたので、そのご披露を行いました。今後も地域との連携をさらに進めていくことで、子供たちを育てていく体制を構築していきたいと考えています。

また、始業式後には、保健委員会が中心となって「トイレ工事感謝の会」を行いました。本校のトイレが改装工事を終え新しくなったことを機会に、実際に工事に携わった方々をお招きしました。

保健委員からのインタビューでは、「トイレを使う人のことを考えてトイレの高さや位置などを使いやすくなるよう考えて作りました」とのことでした。この会を通じて、子供たちの「トイレを大切に使おう」という気持ちが高まってきたと思います。

3学期は、3ヶ月という一番短い学期です。しかし、この3学期は、子供たちにとって大変重要な学期でもあります。それは、6年生にとっては、巣立ちの準備であるとともに、1年生から5年生までも、次の学年への準備の期間であるからです。

冬の間、樹木は寒い気温や冷たい風にじっと耐えながら、暖かな春に花を咲かせるための準備を着々としています。子供たちもそのような時期を迎えていると思います。4月には自信を持って次のステージに立てるよう、教職員一同頑張ってお参ります。

昨日、刃物を持った不審者による市内中学校への侵入事件が発生しました。現在も、犯人は逃走中です。そのため、本校では児童の安全を配慮して登下校の際の職員の見守りを行っております。可能な方は、子供たちの見守りの御協力をいただくと幸いです。

令和2年も、引き続き、保護者の方・地域の方の子供たちへのあたたかい御支援をよろしくお願いいたします。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩